

科目名 クラス 講義区分	科目ナンバリング	曜日	科目名 クラス 講義区分	科目ナンバリング	曜日
経済開発論Ⅱ <秋>	ECON2535	火3			

【教員氏名】

- 坂田 幹男
 ・研究室：兼任講師控室
 ・オフィシアワー：授業前後
 ・メールアドレス：sakata@daishodai.ac.jp

【単位数】

2 単位

【授業形態】

『講義』

【講義・演習概要】

「経済開発論Ⅱ」では、目覚ましい経済発展を遂げた東アジアの国々の「影」の部分に焦点を当てて、これらの国が抱えている課題を中心に解説する。

【学習（到達）目標】

- 1・東アジアの成長にはどのような見過ごされた問題があったかを理解すること。
- 2・中国の「改革・開放政策」は、どのような開発理論に基づいているかを理解すること。
- 3・グローバル化の著しい今日において、どのような開発政策が可能かという点について理解すること。

【講義・演習計画】

- 第1回：はじめに（全体の講義計画について）
 「経済開発論Ⅰ」との関係について
- 第2回：「東アジアモデル」の光と影を考える
 ①クルーグマンの警鐘
- 第3回：「東アジアモデル」の光と影を考える
 ②「ダブル・スタンダード」の崩壊
- 第4回：「東アジアモデル」の光と影を考える
 ③「アジア通貨危機」の勃発
- 第5回：「東アジアモデル」の光と影を考える
 ④突きつけられた「グローバル・スタンダード」と構造改革
- 第6回：「東アジアモデル」と「国家資本主義」
 ①NICsと国家資本主義
- 第7回：「東アジアモデル」と「国家資本主義」
 ②中国の市場経済化と「国家資本主義」
- 第8回：「東アジアモデル」と「国家資本主義」
 ③グローバリズムと「国家資本主義」
- 第9回：北東アジアの開発計画について
 ①東アジアの成長と「局地経済圏」
- 第10回：北東アジアの開発計画について
 ②北東アジアの局地経済圏構想
- 第11回：北東アジアの開発計画について
 ③「北東アジア経済圏構想」と「図們江地域開発計画」
- 第12回：北東アジアの開発計画について
 ④経済圏構想の具体化と挫折・北東アジアの特殊性と試練
- 第13回：グローバル時代の経済開発論
 ①グローバリズムとリージョナリズム
- 第14回：グローバル時代の経済開発論
 ②経済圏構想と地域経済協力
- 第15回：グローバル時代の経済開発論
 ③「メガ経済圏」の出現と日本の針路および全体のまとめ

【成績評価の方法】

試験評価：100%
 「経済開発論Ⅱ」は、「経済開発論Ⅰ」と連動する部分が多い。したがって、「経済開発論Ⅱ」を受講する学生は、「経済開発論Ⅰ」を受講していることが望ましい。

【テキスト】

坂田幹男：『開発経済論の検証』（国際書院）

【参考文献】

坂田幹男・内山令和『アジア経済の変貌とグローバル化』晃洋書房、2016年。

【事前および事後学習の指示（事前学習 30 時間 事後学習 30 時間）】

テキストを利用して、事前の予習と、事後の復讐を行ってください。

【キーワード】

ダブル・スタンダード、国家資本主義、局地経済圏、メガ経済圏

【備考（管理者用）】

（旧：経済開発論）2～1E・CBCC生読替